

2022年10月27日

橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート術後の屈筋腱損傷に関する超音波研究

1. 研究の対象

2013年4月1日から2022年3月31日の間に
当センターで橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート手術を受けた方

2. 研究目的・方法

目的: 橈骨遠位端骨折術後の屈筋腱断裂のリスクを解明するため

方法: 対象症例の術後超音波検査に基づく屈筋腱と掌側ロッキングプレート間隙を術後経時的に評価する。

研究期間: 倫理委員会承認後から2024年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: なし

情報: 年齢、性別、超音波検査結果、レントゲン像

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 整形外科

研究責任者: 整形外科部長 藤原 達司

電話 06-6692-1201